



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 マルカキカイ（株）

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）竹下 敏章

問合せ先責任者 （役職名）取締役兼常務執行役員管理本部長 （氏名）森 康明 TEL 072-625-6551

四半期報告書提出予定日 平成24年10月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績（平成23年12月1日～平成24年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	30,843	30.4	1,712	162.3	1,833	142.6	946	123.2
23年11月期第3四半期	23,654	39.1	653	377.7	755	151.8	424	211.7

（注）包括利益 24年11月期第3四半期 994百万円（168.2%） 23年11月期第3四半期 370百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	104.44	—
23年11月期第3四半期	46.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第3四半期	26,423	13,389	49.4	1,439.08
23年11月期	23,648	12,549	51.7	1,349.75

（参考）自己資本 24年11月期第3四半期 13,045百万円 23年11月期 12,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年11月期	—	9.00	—	—	—
24年11月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年11月期の連結業績予想（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	23.3	2,000	89.4	2,150	74.8	1,100	61.9	121.34

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年11月期 3 Q	9,327,700株	23年11月期	9,327,700株
24年11月期 3 Q	262,359株	23年11月期	262,222株
24年11月期 3 Q	9,065,371株	23年11月期 3 Q	9,065,517株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に一部に持ち直しが見えるものの、円高の長期化、株式市場の低迷など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、日米中亜の4極体制の構築を推し進めるとともに、基本方針として「創・守・伸」（新事業・新分野・新規顧客の創造、販売ルートの堅持、既存ユーザーとの取引深耕）を徹底してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,843百万円（前年同期比30.4%増）、営業利益は1,712百万円（同162.3%増）、経常利益は1,833百万円（同142.6%増）、四半期純利益は946百万円（同123.2%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

(産業機械)

産業機械部門においては、国内・北米・中国・東南アジアで当社の主力顧客である自動車業界向けの販売が大きく伸長し、加えてタイの洪水復興需要等もあり好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は26,544百万円（前年同期比37.6%増）、営業利益は2,088百万円（同80.5%増）となりました。

(建設機械)

建設機械部門を取り巻く環境は、東北地方の震災復旧需要はあるものの、公共事業の予算は削減されており、厳しい状況で推移いたしました。販売部門は苦戦し、レンタル部門は堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は4,271百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は166百万円（同74.5%増）となりました。

(その他)

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は27百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は7百万円（同35.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は26,423百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,774百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少（前期末比306百万円減）、受取手形及び売掛金の増加（同1,711百万円増）、有価証券の増加（同1,200百万円増）、商品及び製品の増加（同49百万円増）、建物及び構築物の増加（同234百万円増）、建設仮勘定の減少（同155百万円減）によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は13,034百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,935百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（前期末比1,656百万円増）、短期借入金の増加（同107百万円増）、未払法人税等の増加（同172百万円増）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は13,389百万円となり、前連結会計年度末と比較して839百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期純利益の計上（946百万円）、剰余金の配当（154百万円）、為替換算調整勘定の増加（前期末比16百万円増）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月4日に「平成24年11月期第2四半期決算短信」において公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社及び一部の連結子会社が保有する貸与資産の耐用年数は、従来、法人税法に規定する方法と同一の基準により一律6年を採用していましたが、過去の使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期に利用可能であることが明らかになったため、第1四半期連結会計期間において、一律6年から6年～16年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ49,822千円増加しております。

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(退職給付引当金)

退職給付一時金制度及び適格退職年金制度を採用していた一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より退職給付一時金制度及び中小企業退職金共済制度を併用した制度に移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間において退職給付制度改定益15,729千円を特別利益に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,913,422	5,606,503
受取手形及び売掛金	8,927,493	10,638,753
有価証券	300,000	1,500,520
商品及び製品	1,241,084	1,290,991
仕掛品	27,591	20,200
原材料及び貯蔵品	6,811	5,614
繰延税金資産	132,748	141,282
その他	1,302,629	1,290,713
貸倒引当金	△52,188	△46,829
流動資産合計	17,799,592	20,447,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	898,709	1,042,518
減価償却累計額	△589,565	△498,451
建物及び構築物(純額)	309,144	544,067
機械装置及び運搬具	150,346	153,762
減価償却累計額	△130,426	△136,797
機械装置及び運搬具(純額)	19,919	16,964
工具、器具及び備品	196,417	209,182
減価償却累計額	△171,289	△169,241
工具、器具及び備品(純額)	25,128	39,940
貸与資産	2,065,597	1,996,907
減価償却累計額	△1,690,464	△1,665,209
貸与資産(純額)	375,132	331,697
土地	2,861,525	2,887,668
建設仮勘定	182,602	26,896
有形固定資産合計	3,773,453	3,847,236
無形固定資産		
のれん	31,731	19,832
その他	54,853	95,269
無形固定資産合計	86,585	115,101
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292,565	1,326,614
長期預金	500,000	500,000
繰延税金資産	15,945	14,857
その他	333,786	305,702
貸倒引当金	△154,858	△134,306
投資その他の資産合計	1,987,438	2,012,868
固定資産合計	5,847,476	5,975,206
繰延資産		
開業費	1,362	338
繰延資産合計	1,362	338
資産合計	23,648,431	26,423,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,697,208	10,353,638
短期借入金	80,000	187,860
未払法人税等	252,507	425,305
その他	1,607,052	1,624,444
流動負債合計	10,636,768	12,591,247
固定負債		
繰延税金負債	12,906	15,563
退職給付引当金	58,795	41,871
役員退職慰労引当金	143,601	163,284
再評価に係る繰延税金負債	207,252	184,661
その他	39,566	37,559
固定負債合計	462,121	442,941
負債合計	11,098,889	13,034,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,300,391	1,300,391
利益剰余金	9,999,173	10,791,875
自己株式	△211,731	△211,828
株主資本合計	12,502,249	13,294,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,212	55,708
土地再評価差額金	269,380	291,971
為替換算調整勘定	△613,693	△596,756
その他の包括利益累計額合計	△266,100	△249,076
少数株主持分	313,392	343,328
純資産合計	12,549,541	13,389,106
負債純資産合計	23,648,431	26,423,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	23,654,028	30,843,764
売上原価	20,462,574	26,387,361
売上総利益	3,191,453	4,456,403
割賦販売未実現利益戻入額	33,112	21,249
割賦販売未実現利益繰入額	22,667	13,912
差引売上総利益	3,201,898	4,463,740
販売費及び一般管理費	2,548,849	2,750,874
営業利益	653,048	1,712,865
営業外収益		
受取利息	41,711	44,472
受取配当金	14,182	15,434
固定資産売却益	33,120	19,295
為替差益	—	10,563
不動産賃貸料	53,655	46,511
雑収入	23,346	30,368
営業外収益合計	166,016	166,644
営業外費用		
支払利息	1,242	1,060
為替差損	44,082	—
不動産賃貸費用	16,372	42,234
雑損失	1,624	2,595
営業外費用合計	63,322	45,891
経常利益	755,742	1,833,618
特別利益		
固定資産売却益	266	—
投資有価証券売却益	23,492	75
退職給付制度改定益	—	15,729
特別利益合計	23,758	15,805
特別損失		
固定資産売却損	—	666
固定資産除却損	—	47,365
投資有価証券評価損	16,279	—
減損損失	2,102	—
特別損失合計	18,382	48,031
税金等調整前四半期純利益	761,119	1,801,392
法人税、住民税及び事業税	327,103	815,883
法人税等合計	327,103	815,883
少数株主損益調整前四半期純利益	434,016	985,508
少数株主利益	9,866	38,695
四半期純利益	424,149	946,813

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	434,016	985,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,333	△23,219
土地再評価差額金	—	22,590
為替換算調整勘定	△57,971	9,542
その他の包括利益合計	△63,304	8,913
四半期包括利益	370,712	994,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,003	963,837
少数株主に係る四半期包括利益	5,708	30,584

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	19,297,748	4,329,063	23,626,811	27,216	23,654,028	—	23,654,028
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,297,748	4,329,063	23,626,811	27,216	23,654,028	—	23,654,028
セグメント利益	1,156,957	95,211	1,252,168	11,649	1,263,818	△610,770	653,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△610,770千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,544,840	4,271,200	30,816,040	27,723	30,843,764	—	30,843,764
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,544,840	4,271,200	30,816,040	27,723	30,843,764	—	30,843,764
セグメント利益	2,088,862	166,164	2,255,027	7,524	2,262,552	△549,687	1,712,865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△549,687千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。